

平成 25 年 3 月 19 日
農 林 中 央 金 庫

『J Aバンク農業金融プランナー』942 名が新たに誕生

J Aバンク（J A・信連・農林中央金庫）では、平成 23 年度より J A系統独自の農業融資資格制度（『J Aバンク農業金融プランナー』）を導入しております。このたび、本年 2 月に実施した第四回の検定試験の結果、全国の J Aバンクの農業融資担当者など 942 名が新たに資格を取得しましたので、お知らせいたします。

なお、このたび資格を取得した 942 名を加えた結果、平成 23 年度からの累計取得者数は 2,950 名となりました。

今後とも、当資格の積極的な取得奨励や資格取得者に対する適切なフォローアップを通じて農業融資に関する人材育成に取り組み、農業メインバンク機能の一層の強化を図ってまいります。

1 資格制度創設の目的

農業融資の実務に即した資格の取得を通じ、J Aバンクの農業融資担当者の資金相談・経営相談などに関する知識・ノウハウの一層の充実を図り、多様化・専門化する農業者の金融ニーズに応えていくことを目的としています。

2 資格の概要

- (1) 呼 称：『J Aバンク農業金融プランナー』
- (2) 取得要件：所定の業務検定試験の合格者

【業務検定試験の概要】

- ・名 称：「農業融資実務」
 - ・実施頻度：年 2 回（10 月、2 月）
 - ・出題範囲：業界動向，農業簿記・税務，経営分析，融資審査，
経営改善提案などの実務的項目を中心に出題
- ※別途、本検定試験に連動する通信研修コースあり

- (3) 資格付与者：農林中央金庫

以 上

【本件に関するお問い合わせ先】

農林中央金庫 広報企画室（野田・内田）

Tel : 03-5222-2017

農業融資資格制度『ＪＡバンク農業金融プランナー』について

1 資格制度導入の趣旨・経緯

ＪＡバンク（ＪＡ・信連・農林中金）の事業戦略である「ＪＡバンク中期戦略（平成 22～24 年度）」では、「農業メインバンク機能」の強化を最重要テーマと位置付け、正組合員を中心とした中小個人農業者への農業金融サービスの提供に加え、大規模農家・農業法人等の専門的なニーズへ応えていくための取組みを進めていくこととしております。

「農業メインバンク機能」の強化に向けた具体的取組事項のひとつとして、全国共通の研修制度・資格制度を導入することを通じ、ＪＡ農業融資担当者等の人材育成に取り組むこととし、本資格制度を創設しました。

本資格取得のための検定試験の内容は、農業融資の実務に即した実践的な内容から構成されており、資格取得を通じてＪＡバンクの農業融資担当者等の資金相談・経営相談への対応力向上につなげ、農業者の一層の満足度向上を図ることを目的としています。

2 資格制度の概要について

- 農業融資にかかる通信研修・業務検定試験を平成 23 年度に新設（研修事務局は農林中央金庫の子会社・協同セミナー）、業務検定試験の合格者に対し農林中央金庫が対外呼称『ＪＡバンク農業金融プランナー』を付与。
- 主な資格取得の対象者は、農業金融サービスの提供窓口として資金相談・農業経営相談等の役割を担うＪＡバンク職員を想定。現在、担い手金融リーダー※約 1,900 名に加え、農業融資担当者等の信用部門職員、さらに営農経済等他事業部門職員の受験も期待しています。
- 本資格制度に連動する通信研修「農業融資コース」は平成 23 年 4 月に開講済。研修の主な内容は以下のとおりです。
 - 基礎知識（農業の現状、農地制度、業界動向 等）
 - 農業経営把握・分析（農業簿記、農業税務、農業労務、経営分析 等）
 - 農業融資実践（融資審査、経営改善提案、ビジネスマッチング 等）
- 業務検定試験「農業融資実務」の出題範囲は、上記の通信研修と連動。

※担い手金融リーダーとは、農業金融にかかる企画・推進リーダーであり、具体的には、①担い手の実態把握、担い手に対する融資・相談対応、②担い手への融資対応に関するＪＡ・信連・農林中金間の調整業務、③ＪＡ内各事業との連携等にかかる調整業務等を主な業務として、平成 17 年度より設置しています。

なお、平成 24 年 10 月 1 日現在の設置人数は、ＪＡ・信連・金庫合計で 1,916 名です。

3 その他

本資格の対外呼称である『ＪＡバンク農業金融プランナー』は、実際に呼称を使用するＪＡ農業融資担当者等の意見を反映させるため、全国のＪＡより候補を募集し、平成 23 年 10 月に決定したものです。

以 上